

総合的な学習の時間
手話体験教室
「だれもがくらしやすいまちへ」

川崎市立小田小学校

単元（題材）目標

- 体験学習やゲストティーチャーの話から障がいのある人の気持ちを考えることができる。
- 自分が感じたことから、課題を見つけ本やインターネットなどで調べることができる。
- 体験したことや調べたことから、これから自分にできることを考えることができる。

(1) 実施時期

12月中旬

(2) 対象（学年等・人数）

4学年 86名，小学校教員4名

(3) 指導者（教諭・外部講師等）

本校教諭：4年所属3名，いちご級所属1名

外部講師：「川崎区聴力障害者協会」3名，「手話サークルわかば」4名

(4) 実施内容

①講演会：「聞こえないってどんなこと？」（学年全体）

- ・耳の不自由な人について
- ・耳の不自由な人とのコミュニケーションの方法
- ・耳の不自由な人が使うと便利なもの

②手話体験：（各学級）

- ・各学級に講師2名（聴覚障がいの方と通訳）
- ・手話であいさつしよう
- ・手話で気持ちを伝えよう
- ・名前の表し方を覚え，自己紹介をしよう

(5) 成果

- 聴覚障がいの方に対する理解を深め，いろいろなコミュニケーションの方法があることを知ることができた。
- 手話に興味をもち，手話で簡単なあいさつや自分の名前を伝えられるようになった。

(6) その他

- 同時期に視覚障がいの方や点字サークルの方にもゲストティーチャーとして来校していただいた。